

きょう定例総会開催

日韓トンネル研究会

日韓トンネル研究会(会長・佐々保雄北大名誉教授)の報告会及び第五回定例総会と懇親会が二十五日、東京・新宿の京王プラザホテルで開かれる。同会は国際ハイウェイプロジェクトを推進している国際ハイウェイ事業団の研究団体。

日本・韓国・中国を通り欧州までをつなぐ国際ハイウェイ構想は、文鮮明師(世界基督教統一神霊協会創始者)が提唱。日韓トンネル計画では昨年十月、佐賀県鎮西町で調査斜坑の起工が行われ、当地のマスコミをにぎわせた。

この日行われる報告会では、筑波大学の河野博忠教授による「大アジアハイウェイ計画の社会経済効果」(第一部会)、高知大学満堀大洗教授の「日韓海峡ドレッシング調査」(第二部会)、日本工営(株)第二土木技術部課長

・真柴純治氏「呼子―喜岐間の橋梁計画」(第三部会)、また、ソウル大学鄭昌熙教授の「大韓民国巨済島の地質」(第四部会)など四部会に分かれ報告が行われる。

また、総会では、六十一年度の活動報告と六十二年度の活動計画案の報告、同研究会の名称変更問題などが検討されるほか、マルチヒョン上映、千葉大学名誉教授・清水馨八郎氏が「国際ハイウェイ・日韓トンネルの理念と研究会の使命」をテーマに記念講演する。

なお、報告会は午後一時半から五時まで、同ホテル四階・花で。総会は午後五時半から七時半まで五階コンコードで。参加費用千五百円。懇親会は午後七時四十分から五階エミネンスホールで。参加費用八千円。